

会議録

会議の名称	令和5年度 第3回座間市地域包括ケア会議		
開催日時	令和5年 9月 19日(火) 14時00分～15時20分		
開催場所	市役所5-2会議室		
出席者	松永委員、後藤委員、平原委員、金子委員、内海委員、 岡村委員、高間委員		
事務局	福祉部長寿支援課長寿支援係 山上主任 会計年度職員 佐藤(事務)		
会議の公開可否	<input type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	<input checked="" type="checkbox"/> 非公開
	傍聴者数	0人	
非公開又は一部公開とした理由	座間市地域包括ケア会議開催要綱第6条第2項に該当するため		
議題	・高齢者の移動手段について		
資料の名称			
会議の結果			
司会	・前回の宿題となっていた今後の方針についてどのような案があるか、各包括からお願いします。		
委員	《ひばりが丘》		
	・地域協議体で移動支援について考えていくか		
	・各包括の運営主体に対して、どのような支援が可能か確認していく		
	・ライブボードなどに投げかけていく かどうか。		
委員	《栗原》		
	・圏域の協議体では移動支援の話は出てきていないので、この圏域での方針を決めていくのは難しい。圏域を超えて仕組みができればいいと思う。		
委員	《相武台》		
	・圏域として、コミバスは使いづらいが、病院へ行くのにタクシーを使うには近すぎる。たすけつとが割高になる距離である。タクシーとたすけつとの間のような、もう少し簡単なものが求められているように思う。		
	・2層協議体では(第3層レベルか)、個人レベルの送迎の担い手は出てきている。		
委員	《立野台》		
	・地域の協議体では話は上がっていないので、令和5年度の具体的な方		

<p>委員</p>	<p>針案を出すことが難しい状況である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段を案内する場合は、短い距離の場合は介護タクシー、長い距離の場合はたすけっとを案内し、業者の偏りが起きないように、どこか一つに集中しないように案内するようにはしている。 <p>《相模が丘》</p> <p>第一圏域での話になってしまうが、第一圏域は平坦で医療機関も近く、切実さはない。ただ、通院のための移動支援としては、ちょっとした困りごととして、2つある。一つ目は、病院に行けるが、診察に同行が必要な方、二つ目は、車などを使う距離ではないが、病院に行くのに同行が必要な方である。</p> <p>一つ目については当初、ふれあいネットでの支援を考えたが、診察室入るのは専門職がいいのではという話があり、おととしからの話し合いの中で、専門職の中で互助会を作り、受診同行をするという案がある。現在、受診同行をケアマネが持ち出しで行っている状況があるので、グループ作って、互助会を利用するといった形を考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>診察室で一緒に話を聞く人への立ち合いなど、介護タクシーでも介護職の場合、診察室にまで同行してくれている場合もある。そういうところを紹介していたが、そういった支援を考えている病院もあるといういい情報である。</p> <p>歯医者でも、例えば座間歯科でも送迎している場合がある。座間歯科の奥さんがたすけっとで送迎のドライバーをしていたが、辞めた後、座間歯科の患者さんの送迎をしている。連絡が取れないと安否のように包括に連絡をくれている。美容室の送迎も最近増えている。</p> <p>小さい営業所は自分たちで送迎システムを始めている印象がある。</p>
<p>司会</p>	<p>神奈川県から情報提供のあった「ゴイッショ」についてはどうか。</p> <p>「ゴイッショ」というサービスは、デイサービスの送迎を外部委託するというもので、また、その委託先がデイの送迎以外の時間を地域の高齢者の移動支援に充てるというものである。事業所は車の維持管理、ドライバーの雇用も不要になるというものである。</p> <p>朝夕だけのためにドライバーを雇えないという事情のある小規模の介護事業所では可能性はあるかもしれない。ただ、デイの送迎は、家族と介護事業所との大事な接点のひとつなので、そこを外部に委託してしまうというところは気になる点である。小規模のところほど家族との接点を大事にする傾向があるので、実際に運用されるかは疑問が残るところ</p>

	<p>ろではある。</p> <p>実際、「ゴイッショ」の事例で挙がっているところは、地方でかつ送迎に全く人が当てられないといったような地域である。小規模の介護事業所で、ドライバーの確保が難しく、かつ、お金を払ってでもやりたいという事業所が、何か所かあれば実施可能性はあるしれない。</p>
委員	<p>通常、デイサービスをしている社会福祉法人の送迎ドライバーは、直接雇用か？昼間は何をしているのか？</p>
委員	<p>直接雇用が基本である。日中通しで勤務している方と、朝夕の送迎のみの方といる。通しの方で空いている時間は営繕を行っている。営繕か受診の送迎などの対応をしている。</p>
委員	<p>受診の場合は、ドライバーのみか。</p>
委員	<p>受診の場合は、看護師が付き添いをしたり、介護職員が付き添いをしたりしている。</p>
委員	<p>地域の送迎を考えた場合に、添乗がつかずにドライバーのみとなったら、厳しいのではないか。</p>
委員	<p>高齢者の状態によると思う。自立なのかどうなのか、一人で乗れる人を対象にするのか、対象者によると思う。</p>
委員	<p>例えば、医療法人が病院への送迎だけでなく、地域の人も乗せるように幅が広がれば高齢者の移動支援につながるのではないか。</p> <p>さらに、途中で降りたり、乗ったりできれば、高齢者の移動の幅がひろがるといえる。</p>
委員	<p>幅を広げたとして、乗ってくれる需要がない。それで減っていったという現状がある。</p>
委員	<p>「なかや」の送迎バスは、なかやで買い物しなくても乗せてくれるというボランティア色の強いものになっている。地域としては助かっているが、なかやのバスも使っていないときを見かける。高齢者は夏の日中乗らないというジレンマもある。</p>
委員	<p>富山県黒部市では、社会福祉協議会がバスを貸し出しているといった事例がある。座間はどうか。</p>
委員	<p>座間市社協の車は小さいものしかなく、貸し出しは現実的ではないかもしれない。</p>
委員	<p>ほかの社会福祉法人はどうか。</p>
委員	<p>デイのドライバーは朝夕のみ勤務だが、特養のドライバーは一日勤務。ないときは営繕。日によって複数人いるときもあるが、ドライバー</p>

委員	<p>いないときもあり、いない場合は特養の職員が対応。車だけなら、昼の時間空いている可能性はある。たしかにもったいない側面はある。</p> <p>厚木の山岳地方で、高齢者の移動手段がひっ迫している状況があり、デイの空き時間での移動支援が始まったと聞いた。ただ、座間はどここの地域も厚木の山岳地方よりは不便ではないといえる。高齢のドライバーは多いが、実際、社会福祉法人の車を貸し出したところで乗るか、という疑念はある。コミバスと同様、不便なので乗らないとなり、結局は利用されない懸念はある。</p>
委員	<p>座間はエリア的に難しいと感じる。相模が丘、相武台は困っていない。困っているとして、栗原と新田宿くらいか。栗原はさがみ野以外は不便。立野台は羽根沢あたりか。</p>
委員	<p>綾瀬の方でも社会福祉法人の車を使って、高齢者の移動支援をしている例がある。そういった例は、法人の代表者の地域貢献の思いが強いと感じる。</p>
委員	<p>移動支援というと、大型バスのイメージが強いが、細かいニーズをひろうのであれば、小型のものでも可能性はあるのではないか。社協の送迎のボランティア復活させたほうがいいのかという場合もあるのではないか。</p>
委員	<p>相模台病院と市役所の送迎を相模台病院がしていたのではないかと</p>
委員	<p>利用者がおらず、なくなってしまった。</p>
委員	<p>ところで、前回の議事録の中で、事務所に移動支援の情報一覧がないということがあった。例えば、日ごろ使うケアマネポケットに載っているというのは、ケアマネや包括であった方がいいのというのはあるか。</p>
委員	<p>あったほうがいいと思う。</p>
委員	<p>この包括ケア会議で、そういうものがあつたほうがいいという総意が取れば、親会議の中で、包括やケアマネがすぐ手に取れるケアマネポケットに移動支援の情報を載せるのはどうかと提案してみるのはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>良いと思う。</p>
委員	<p>情報の偏りの無いように、その辺は配慮が必要と感じる。</p>
委員	<p>ケアマネポケットに載せるはいいとして、利用者にとどこまで情報を開示できるかは注意が必要である。開示できる範囲などそれは個々に確認を取る必要がある。もしかしたら、一般向けとケアマネ限りのものと分ける必要はあるかもしれない。</p>

事務局	<p>では次回の親会議では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営主体に移動支援について投げかけるということ（デイの空き時間を地域の交通に使うという案について率直にどう思うか投げかけてみる）と、 ・移動支援の情報をケアマネポケットに載せることを提案してみるということでよろしいか。
委員	<p>次回の包括子会議の議題としては、ケアマネポケットに載せるたたき台のようなものができているはずなので、それを検討していくのはどうか。親会議で運営主体に投げかけてみた結果、出た意見を検討するもいいかもしれない。</p> <p>加えて、次の子会議までの間に、各包括が移動支援で使っている情報を、紙でも情報でもいいので SC 宛に持ってきてほしい。市外の情報でも可とします。</p>
事務局	<p>社会福祉法人の中で、デイの空き時間を使って地域の移動支援を行っている他市の例や、その他移動支援の情報について、情報共有できたらいいと思う。</p> <p>次回子会議：1月16日（火） 親会議：11月14日（火）</p>